

**地域の力を結集し、
「地域計画」の実現に向けた活動に取り組もう！**

この2年間、市町村や関係機関と一緒に策定してきた「地域計画」の実現に向けた取り組みが、令和7年度から本格的に始まります。地域が一体となり描いた地域の農業・農地の将来像を具体化するために、農業委員会としては、計画に沿った権利設定の働きかけや農地中間管理機構との連携強化、そして地域の話し合いを絶やさず続けていくことが必要です。

こうした取り組みを地域が一丸となって進めるためにも、男女がその個性と存在を尊重しながら、お互いの能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、緊要な課題となっています。

農業委員会が、農業・農村の持続的な発展に向けて取り組んでいる「農地利用の最適化」においても、女性の声をさらに反映させ、これまで引き継いできた農地を将来の農業・農村のために繋いでいくことが必要です。

本日、この「女性の農業委員会活動推進シンポジウム」は、全国より女性の農業委員・農地利用最適化推進委員が参加し、「地域の力を結集し、地域計画の実現に向けた活動に取り組もう！」をテーマに開催しました。その成果を踏まえ、以下の3点を、声高らかにアピールいたします。

1 私たちは、「地域計画」の実現に向けた活動に積極的に取り組みます

私たちは、女性の意向や意見も反映した「地域計画」を実現するために、地域での話し合いの継続及び農地の利用集積・集約化、担い手の確保・育成、遊休農地の発生防止・解消など地域で抱える課題の解決に向けた農地利用の最適化に委員一丸となって積極的に取り組んでいきます。

2 私たちは、農業・農村への理解醸成に向けた食農教育や農業後継者対策に取り組めます

農業は、国民の命の源となる食料を生産する生命産業であり、食料安全保障の点からも欠くことのできない大事な産業です。私たちは、すべての消費者が食と農業に興味関心を持ち、農業・農村への理解を深められるような情報発信や食農教育を行うことで、地域農業の存続に欠かすことのできない農業後継者の芽を育んでいきます。

3 私たちは、男女共同参画社会の実現を目指し、女性の声を強く発信します

男女がよきパートナーとして地域の男女共同参画を推進していけるように引き続き女性農業者の声を発信して、男女がともに歩める社会となるよう努力します。

令和7年3月5日
全国農業委員会女性協議会